

会議録

| | |
|-------|---|
| 会議の名称 | 令和3年度第1回新城市市長選挙立候補予定者公開政策 討論会実行委員会 |
| 開催日時 | 令和3年5月27日（木）午後6時30分から |
| 開催場所 | 新城市役所本庁舎4階4-2会議室（オンライン会議） |
| 会議の次第 | 1 委嘱 2 自己紹介 3 委員長・職務代理者の選任 4 市長あいさつ 5 会長あいさつ 6 検討 7 その他 |
| 欠席委員 | なし |

1 委嘱

事務局から各委員に委嘱することを伝えた。

2 自己紹介

第1回目の会議であるため、名簿順に自己紹介を行った。

3 委員長・職務代理者の選任

委員長には推薦により鈴木太委員が選任され、職務代理者は委員長の指名制であるが、今後のことを考えて新城青年会議所に所属している委員で話をして選出してほしいとの意向があり、その旨了承された。後に事務局に田村委員が職務代理者となる旨伝えられた。

4 市長あいさつ

こんばんは。

4年前に当事者として討論会を行い、多くの方に御協力いただいてこれまでにない討論会を創り上げたことが条例制定への大きな1つのきっかけとなりました。これまで新城青年会議所が中心となって実施してきた討論会の蓄積の上に立ちながら、これまでにない政治文化を創っていこうということをきっかけとして4年前の討論会があり、色々な議論が重ねられて条例化されました。自治体としては全国でも初めてのことでありますので、新しい歴史の1ページを作っていくこととなり、今回がその最初の会議です。特に多くの若い方にも申し込んでいただいたことに感謝と敬意を表したいと思います。

何よりも新しいものを創り上げていこうという意欲とチームワークを大切にしていきたいと思います。事実上、市長としての最後の大きな仕事になりますので、しっかりとやり遂げて、次の、また、その次の世代が新しいものを創り上げていく大きな土台にしていただきたいと思います。資料に市政モニターのアンケート結果がありますが、その中で興味深かったものは、公開政策討論会の認知度は比較的ありましたが、参加した方はそのうちの3割にとどまっていて、参加しなかった方のうち、3分の1が政治的などころに参加しにくいという理由でした。私たちが乗り越えようとしていることは、この部分です。多くの方が、考えるべきと思いながら、自由に・オープンに政治にアクセスする機会が閉ざされているのが日本の現状だと

思います。このような制度の壁・心の壁・意識の壁を公開政策討論会で少しでも乗り越えていければと思っています。コロナ禍ですので、複数の計画をしていく必要があるかもしれませんが、それでも志を共有して、市も同様の思いですので、市民にとって楽しく、有意義な、人に参加を促したくなるような公開政策討論会を皆さんの英知で創り上げていただければありがたいと思います。特に皆さんのエネルギー・パワーに大きな期待と敬意を込めて、公開政策討論会実行委員会の始まりに当たってのあいさつとさせていただきます。

5 委員長あいさつ

これからよろしく申し上げます。

今回は画期的な形での実行委員会になると思います。事務局側は初めてのことで、新城青年会議所の現役メンバーの中でも経験が少ないという中での運営になっていきます。この公開政策討論会は、その後の選挙に関わってくる、ひいてはこれからの新城市に関わってくるということで、非常にデリケートな部分も入ってくると思いますので、緊張感を持ちながら進めていきたいと思っています。私自身これまで討論会の運営を経験してきましたが、それとは違う新しい形になるかと思いますが、皆さんで活発な意見交換をしながら、新しい新城市の選挙の在り方を、日本の民主主義の確立の在り方を、0から1への非常に難しいものになるかと思いますが、面白い、楽しい機会になるかと思っていますので、皆さんと共にこれからの新城のまちづくりを創り上げる1つの形として議論をしていければと思っています。これから数か月よろしく申し上げます。

6 検討

新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の開催予定日、開催予定場所及び説明会について

事務局が公開政策討論会制度の概要、開催までの大まかな日程及び今回の検討事項について説明を行った。

| | |
|-----|---|
| 委員長 | 委員の皆さんに、2つお諮りしたいことがあります。現在、緊急事態宣言中で、ワクチン接種によりこれからの状況がどのようにな |
|-----|---|

| | |
|-----|---|
| | <p>るのかわかりませんが、ティーズやY o u T u b eでの配信のみで開催をするのか、可能な限り会場を設営して観客を入れて開催をするのか、それによって変わりますので、まずはそちらの意見をください。</p> |
| 委員 | <p>衆議院議員総選挙の13区と14区の討論会の開催が今年は予定されていますが、そちらでは対面は一切なしで、Z o o m等で、録画も含めて映像に特化して進められています。ワクチンの状況がわかりませんが、10月に全世代まで終了していることは難しいと思いますので、参加者の安全、運営の安全も踏まえて衆議院議員総選挙の討論会についてはそのように進められています。</p> |
| 委員長 | <p>ほかにはいかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>できるだけ現地での開催を検討したいというのが私の意見です。動画の配信では、若い世代には支障がなさそうですが、年配の方だと動画へのアクセスができない方が一定数いるのかと思います。そうした方の機会を奪わないように、感染対策をしっかりと実施しての開催を検討した方が良いと思います。</p> |
| 委員 | <p>私も同じように、できるだけ会場での開催を希望します。前回は、立候補予定者がそれぞれ司会をして行いましたが、それで人となり分かるということが一番の見所でした。政策は後から紙でも分かりますし、会場でどのように話をするのかを見てもらうのが肝です。なるべく会場での開催を希望します。</p> |
| 委員 | <p>私もお二人と同意見です。ただし、全世代に見てもらうのが理想ですので、来ることができない方には、Y o u T u b e等の媒体を使って見てもらえるようにしたいと思います。</p> |
| 委員長 | <p>コロナの今後の展開がわかりませんが、できる限り会場での開催を視野に入れて検討していきたいと思います。</p> <p>もう1つお諮りしたいのが曜日と時間です。新城青年会議所が開催してきた討論会は平日の夜でした。市政モニターアンケートにも土日・昼間の開催の希望がありますが、今回も平日の夜の開催とす</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>るのか、衆議院の総選挙の動向がわかりませんが、週末の昼間の開催を考えていくのか、意見はありますか。</p> |
| 委員 | <p>メインターゲットをどうするかということですが、1回で全世代を狙うというのは難しいと思います。先程話しましたが、Zoom等で行うのは今年しかできないのではないかと思います。次回以降は、今年の経緯を参考にして・・・(通信不良)、という選び方をしないと日時がはっきりとしないかなと思いました。</p> |
| 委員 | <p>作手地区では年配者が多いので平日でも人は集まると思います。前回もそうでした。場所によって差が出ると思います。同じ曜日ではなく、分けても良いと思います。</p> |
| 委員 | <p>平日・土日どちらでも構わないと思います。アンケートにもありますようにYouTube配信を希望されている方が多数おり、YouTube内でもアーカイブを作るなど形に残るようにして視聴ができるのであれば、曜日は特に問わないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>いつ開催するかということにメッセージを込められるかと思えます。若い人の参加しやすい日時に設定をしてその意思を感じさせることができれば、若い人たちへのメッセージになると思います。単純に参加しやすい日程を選ぶのではなく、選んだ日程をアピールすることで気持ちが伝わるかと思えます。</p> |
| 委員 | <p>地域別に差があると思います。作手地区は高齢者や農家の方が多く、新城地区でも若い人は働いています。また、10月は農繁期です。昼間は大変かと思えます。</p> |
| 委員長 | <p>この会議の時間はいつまででしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>緊急事態宣言中ですので短時間でとっておりました。1回目いきなり決めるというのは難しいかと思えます。今回の意見を事務局でまとめますので、お渡ししている資料と今回の意見を元にして次回に意見をいただきたいと思えます。</p> |

7 その他

(1) 次回の日程

6月2日（水）午後6時30分から

(2) 誓約書

基本原則に則って公平・公正に運営をする必要があることから、市民自治会議から誓約書の提出を求めるよう意見があった旨事務局から報告がなされた。次回にそれについて意見をいただくこととなった。

(3) 報償

公開政策討論会の後に選挙につながることから、誤解を招くことがないようにするため委員は報償がなく、実費弁償（交通費）のみであることを事務局が説明した。

閉会